

こんにちは 議会です!!



里の秋

「たがトコ フォトクラブ」提供

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| • 9月定例会 …………… 2 | • 産業建設常任委員会(閉会中含む)…………… 8 |
| • 予算特別委員会 …………… 3 | • 子ども議会(11人が質問)…………… 9 |
| • 決算特別委員会 …………… 4 | • 町政を問う(8人が一般質問)…………… 13 |
| • 総務常任委員会(閉会中含む)…………… 7 | • 地域おこし協力隊 …………… 18 |

9月定例会は、諮問1件、同意1件、報告1件、議案9件、認定12件、請願1件、追加議案1件を審議

諮問

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
再任 小菅 法雄 氏

可決

同意

多賀町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
再任 丸尾 恭子 氏

可決

報告

4年度多賀町財政の健全化判断比率および資金不足比率の報告について
・健全財政を維持
意見無し

議案

①多賀町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例について

例の一部を改正する条例について 可決

②多賀町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 可決

③多賀町放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 可決

総務常任委員会に付託

④調停を成立させることについて 可決

⑤5年度多賀町一般会計補正予算(第4号)について 可決

予算特別委員会に付託

⑥5年度多賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 可決

⑦5年度多賀町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について 可決

可決

⑧5年度多賀町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について 可決

⑨5年度多賀町水道事業会計補正予算(第2号)について 可決

認定

①4年度多賀町一般会計歳入歳出決算の認定について 可決

②4年度多賀町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 可決

③4年度多賀町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 可決

④4年度多賀町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について 可決

⑤4年度多賀町水道事業会計補正予算(第2号)について 可決

⑥4年度多賀町大滝財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定について 可決

⑦4年度多賀町多賀財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定について 可決

⑧4年度多賀町霊仙財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定について 可決

⑨4年度多賀町公共緑地維持管理特別会計歳入歳出決算の認定について 可決

⑩4年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について 可決

⑪多賀町水道事業会計の利益の処分および4年度決算の認定について 可決

⑫4年度多賀町下水道事業会計決算の認定について 可決

産業建設常任委員会に付託

産業建設常任委員会に付託

産業建設常任委員会に付託

産業建設常任委員会に付託

産業建設常任委員会に付託

産業建設常任委員会に付託

産業建設常任委員会に付託

産業建設常任委員会に付託

予算特別委員会(補正)

5年度多賀町一般会計補正予算(第4号)

5993万円追加 総額 51億8454万円

Table with 2 columns: 歳入 (Revenue) and 歳出 (Expenditure). Rows include items like 地方特例交付金, 地方交付税, 国庫支出金, etc., with values in 万円.

歳入の主なもの

- 地方交付税 7180万円
・県補助金
産地生産基盤パワーアップ事業補助金(そばコンバイン購入補助) 349万円
・繰越金 2033万円
・諸収入 164万円
消防団員退職報償金

歳出の主なもの

- 一般管理費(人件費)
職員の異動、退職者等で各課においての増減
・消防団員退職報償金 2名分 164万円
・測量設計委託 250万円
・結いの森駐車場にシルバー人材センターを建設のための設計費

企画課所管

- 電子計算費 152万円

産業環境課所管

- そばコンバイン購入補助金 349万円と町補助金 200万円
・農業機械購入補助金 400万円

- 秋の粗大ゴミ収集委託料 1026万円

- 住宅リフォーム補助金 100万円

地域整備課所管

- 多賀町B&G海洋センター修繕工事 500万円

税務住民課所管

- 後期高齢者医療費の広域連合負担金(過年度分)と繰出金合わせ 292万円

福祉保健課所管

- 町税過年度還付金 600万円
・高齢者小規模住宅改造事業補助金 3件分 100万円

最終日追加議案

- 5年度多賀町一般会計補正予算(第5号)について
歳入・歳出それぞれ2400万円追加し、52億854万円とする。
・災害復旧費 1900万円

教育委員会所管

- 道路補修工事 102万円
・多賀小学校の児童数増加に伴う備品購入 309万円

- 大滝小学校から放課後児童クラブへの送迎費用 57万円

- 多賀町B&G海洋センター事務所エアコンの修理 71万円

- 胡宮神社旧社務所(町指定文化財)の改修費 344万円

歳出決算額（目的別）

事業規模はコロナ前に回復傾向

単位：万円

項目	金額	増減	項目	金額	増減
議会費	6837	▲80	土木費	7億2141	2億717
総務費	6億5869	1億2500	消防費	1億7520	▲835
民生費	17億6130	8912	教育費	7億5027	6617
衛生費	4億4575	▲1599	災害復旧費	126	▲392
農林水産業費	3億1407	3279	公債費	5億148	▲1346
商工費	3675	▲598	諸支出金	2億4193	▲1億8629
合計			56億7648		

総務費

ふるさと納税事業
特別定額給付費
庁舎1階トイレ・エレベーター改修工事
電子入札システム使用料
個性輝くまちづくり活動支援事業補助金
空家除却補助金
物価高騰対策緊急支援補助金
湖東圏域公共交通活性化協議会事業負担金
近江鉄道線活性化再生協議会負担金
地域おこし協力隊報償費・活動費
6町行政情報システム(クラウド)共同利用料
電子申請システム共同利用料
事務用パソコン等備品購入
AI議事録システム使用料
参議院議員選挙費・滋賀県知事選挙費



庁舎1階トイレ



新入生通学カバン

次ページに続く

民生費

老人福祉費（配食サービス事業、緊急通報システム事業／一人暮らし・高齢者対策）
障害者自立支援（障害福祉サービス、地域生活支援事業）
住民税非課税世帯臨時特別給付
長寿祝い金事業（95歳23名、100歳4名）
人工透析療養者通院交通費助成
軽度・中度知的障害者支援、軽自動車・自動車税負担軽減事業
小中学生・重度心身障害者（児）3級に福祉医療助成
児童福祉費（児童手当、出産奨励祝金、育児用品助成）
低所得者子育て世帯生活支援特別給付（ひとり親世帯）
久徳うぐいすこども園建設・備品購入
小・中学校新入生通学カバン・ヘルメット支給

令和4年度の決算を審査

歳入決算 **63億8547万円** 前年度比 6億9117万円 **増**

歳出決算 **56億7648万円** 前年度比 2億8545万円 **増**

実質収支 ▶▶▶
(歳入－歳出－繰越財源)

7億899万円
(翌年度に繰り越されます) (以下 単位：万円)

財源の構成は

自主財源	町税	17億9635
	分担金及び負担金	2936
	使用料及び手数料	985
	財産収入	1013
	寄附金	8568
	繰入金	4億6159
	繰越金	3億267
	諸収入	3億3284
47%	合計	30億2846
依存財源	地方譲与税	6743
	地方特例交付金	1638
	地方交付税	15億5789
	利子割交付金	49
	配当割交付金	492
	株式等譲渡所得割交付金	390
	地方消費税交付金	2億363
	自動車税環境性割交付金	701
	法人事業税交付金	5270
53%	交通安全対策特別交付金	93
	国庫支出金	6億9041
	県支出金	3億2889
	町債	4億2243
	合計	33億5701

町税収入の内訳は

住民税	6億3552
(個人)	3億3756
(法人)	2億9776
固定資産税	10億6690
軽自動車税	3336
たばこ税	5930
鉱産税	148
合計	17億9635

基金の残高は

一般会計	財政調整基金	12億3456
	減債基金	6040
	ふるさと水と土の保全基金	3200
	土地開発基金	4319
	まちづくり基金	8568
	社会福祉基金	5759
	公共施設維持管理基金	1億443
	合計	16億1784
特別会計	介護保険給付準備基金	9045
	育英基金	3748
	多賀財産区管理会基金	307
	大滝財産区管理会基金	1159
	びわこ東部団地緑地基金	3億3050
	合計	4億7310

財源の構成は

公共事業等債	9億9149	教育・福祉施設等整備事業債	6億8452
防災・減災・国土強靱化・緊急対策事業	1億1350	一般単独事業債	8億307
災害復旧事業債	2594	その他の地方債	25億386
		合計	51億2238

農林水産業費

農村まるごと保全事業（地域ぐるみ共同活動）
中山間地域等直接支払い支援
中山間地域農業従事者補助金
農業機械購入費補助金（担い手、営農組合等）
農作物価高騰緩和対策支援（肥料・燃油）
芹川承水路改修工事（最終年）
農業集落排水事業繰出
鳥獣害防止対策費 （家庭菜園等獣害防護ネット購入費補助）
有害鳥獣駆除委託
放置林防止対策境界明確化事業
林道維持補修事業
里山防災整備事業
多賀産木材活用活性化事業



里山防災整備事業（川相）

消防費

彦根市消防事務委託費
非常備消防費 （多賀町消防団56名、各字自警団32団体、 婦人消防隊3団体 計約500名）
消防資機材整備補助
災害備蓄品整備費 （パンの缶詰、アルファ米、飲料水、 液体ミルク、生理用品等の備蓄）

衛生費

妊娠出産支援事業
特定不妊治療費助成
ふれあいの郷空調設備更新
資源回収活動推進事業

商工費

住宅リフォーム促進事業補助金
観光名所ライトアップ事業

土木費

道路橋梁費
通学路の安全対策事業
除雪対策事業
多賀スマートインター下り線周辺町道整備 「（仮称）結いの森公園」整備
急傾斜地崩壊対策事業（久徳、萱原）
地籍整備事業（多賀、梨ノ木）

教育費

ICTの活用事業
外国語指導業務
多賀小学校北校舎トイレ改修
土曜講座「サタスタ」開講
大滝小学校自動火災報知設備更新
青少年育成事業
社会教育推進事業
人権教育推進事業
滝の宮スポーツ公園 プールサイドシートの張替修繕



土曜講座「サタスタ」

総務常任委員会

9/13

4年度認定3件 条例
1件 請願1件を審査

国民健康保険
特別会計決算

歳入 9億3996万円
前年比 4103万円(増)

歳出 8億6112万円
前年比 2964万円(増)

差引残額 7884万円

被保険者数 1564人
世帯数1000世帯
一人当たり
44万7000円

後期高齢者医療事業特別
会計(75歳以上が加入)

歳入 1億1352万円
前年比 244万円(増)

歳出 1億1196万円
被保険者数 1337人
医療費総額
11億5827万円
一人当たり
86万6000円

7割5割2割軽減がある

窓口負担

1割 1051人
2割 231人
3割 55人

介護保険事業特別会計

歳入 8億8970万円
前年比 2736万円(増)

歳出 8億4247万円
前年比 2789万円(増)

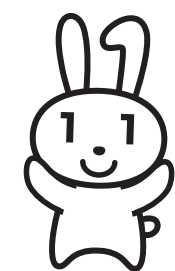
準備基金残高
9045万円

被保険者数

65歳以上 2459人
40歳から64歳 2172人
要介護認定者 372人
高齢者率 33・53%

・多賀町放課後児童健全
育成事業の設備および運
営に関する基準を定める
条例の一部を改正する条
例について

・放課後児童支援員は、
知事等が行う研修を修了



マイナンバーPRキャラクター
マイナーちゃん

賛成少数(2) 不採択

閉会中の調査

7/10

兄弟都市である鹿児島
県日置市の表敬訪問と
政務調査を兼ね実施し
た

活用方法

災害情報・市からのお
知らせ・自治会ごとの放
送。

防災無線・子ども食
堂・鹿児島市立図書館
「天文館図書館」の視察
研修をした。

・防災無線

平成25年から29年の5
年間でデジタル防災行政
無線を7億9458万円
と自治会でも放送可能と
する地域コミュニティ
無線システム、各世帯へ
の戸別受信整備に12億6
917万円、総事業費20
億6376万円をかけ整
備(アンテナ136本・
公共施設宅内受信機10
1カ所・個人受信機22
000台)年間維持費2
300万円。

・子ども食堂運営体制

4地域で独自で取り組
んでいる。責任者を中心
に地域によりボランティア
の方5〜17名で活動。

日置市中央公民館

月一回第4日曜日弁当
200食(高校生まで無
料・大人300円)
湯田地区公民館
毎月最終日曜日60食
(大学生まで無料・大人
100円)

八幡公民館

毎月第3土曜日50食
(子ども無料・大人20
0円)
吹上中央公民館
毎月第2土曜日100
食(高校生まで無料・大
人300円)

・天文館図書館

鹿児島市繁華街に面し
た複合施設4・5階フロ
アに4年4月に開館。
フロア内は「そだつ・
くらす・はたらく・うみ
だす」とテーマ分けされ
そだつ広場には広いフロ
アにベビーカー置き場や
子供が遊べるスペースや
ステージ観客席もある会
場。

利用者カードのデジタ
ル化、読書スペースには
予約席もある。

利用者は1日100
0人から1500人。
休日は2000人から
2500人

産業建設常任委員会

9/14

4年度 特別会計事業の決算2件、水道事業会計の決算1件、下水道事業会計の決算1件審査

びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理特別会計決算の認定

事業は基金を活用し、団地の街路灯や草刈り、樹木剪定の維持管理を行っており、今後も適切な運営を行っていく。



除草作業

農業集落排水事業特別会計決算の認定

歳出決算額は6662万円の前年度と比較して1147万円増加。

4集落での施設が整備され、今後は維持管理、接続啓発が主な取り組みとなる。

4年度末地方債残高 3億1155万円

水道事業会計の利益の処分および4年度決算の認定

給水戸数3165戸、給水人口7411人

3年度からの増減は給水戸数が17戸、給水人口では75名の減少。

経理状況 水道事業収益 4億584万円

前年比 1795万円(増) 3億3147万円

事業費用 2276万円(増)

企業債概況 4年度、1億1420万円を償還、新たに3000万円を借り入れた。

4年度末残高 26億1428万円



大谷第1配水池

4年度下水道事業会計決算の認定

事業収益は4億530万円の前年度、1452万円増、収益的支出の下水道事業費用は3億9219万円。

前年比 974万円(増) 2億3007万円を償還。

企業債償還金 4年度末残高 21億5842万円

閉会中の調査

7/10

兄弟都市である鹿児島県日置市の表敬訪問と政務調査を兼ね実施した

一般廃棄物と生ごみの処理について

問 家庭ごみの減量化

答 市民がごみを出すことにストレスを感じないようにはしていないかと思慮している。

問 リサイクルの取り組みについて

答 現在は不要になった洋服などのリユース事業に着手し、市役所の窓口などに回収ボックスを設置。焼却するごみの更なる削減効果があった。

問 生ごみ回収事業は

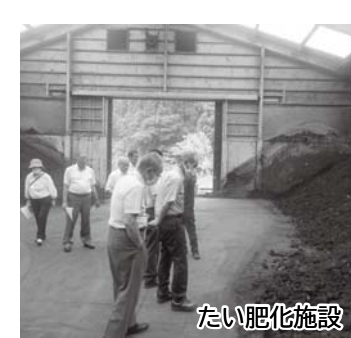
答 環境と福祉で市民に説明して、高齢者等の支援につながる低予算、低コストで双方が負担の少ない事業が出来ないかと発想で開始した。

削減と二酸化炭素排出抑制を図る。今後は使用済み紙おむつのリサイクルに取り組みたいとの説明があった。

各家庭では、24時間いつでも利用できることから、家庭内で生ごみを保管しなくてもよい。生ごみ回収事業の効果として、燃やせるごみの量が半分以下となり、ごみ袋の使用量が減った。4年度末で、6534トン削減したとの説明を受けた。

生ごみ処理場、たい肥化施設の現地視察。工場でたい肥化し、有機肥料として1袋10kg300円で販売される。獣害対策、使用済み天ぷら油(廃食油)の回収を質疑した。

太陽光発電のパネルリサイクル工場やお試し住宅等の視察研修を行った。



たい肥化施設

9月子ども議会

11人が質問

子ども議員

町づくりを問う

質問事項 ページ

みやした ひな 宮下 陽菜さん(多賀中1年).....10

◎多賀町をこんな町にしたいという構想は

たないけ るふ 棚池 流風さん(大滝小6年).....10

◎スピードを出す車に対する安全について

こばやし いのり 小林 祈里さん(多賀中1年).....10

◎多賀町を多くの人に知ってもらうための取組について

たなか さな 田中 桜奈さん(多賀中2年).....10

◎観光名所を多くの人に知ってもらう工夫について

とみなが ゆうせい 富永 友晴さん(大滝小6年).....11

◎高れい者の住みよいまちづくりについて

ふじき なぎ 藤木 凪さん(多賀小6年).....11

◎大雨や大雪時の対策について

なつはら ゆい 夏原 優衣さん(近江兄弟社中1年).....11

◎多賀町の英語教育について

しみず けいと 清水 敬仁さん(多賀小6年).....11

◎タブレットの使い方について

きょうの みお 教野 実桜さん(多賀中3年).....12

◎自然環境を大切にしている取組について

あそう れあ 麻生 麗杏さん(多賀中2年).....12

◎多賀町の人口減少の対策について

しろがいの ゆめ乃 城貝 ゆめ乃さん(多賀中3年).....12

◎多賀中学校の給食について



多賀中1年 陽彩さん

多賀町をこんな町にしたいという構想は

私は、多賀町が「挨拶と笑顔であふれる町」にしていきたいと思っています。

じように挨拶してくれる人があまりいないので、気が引けて会釈しかできない。挨拶をいろんな人とするのは、防犯効果もあると聞いたので積極的にやりたい。

多賀町をどんな町にしていきたいと思っておられるのか。

町長 豊かな自然と歴史文化を活かしたまち、こ



多賀小6年 流風さん

スピードを出す車に

放課後学校に行ったとき、県道を多くの車が速いスピードで通過していて怖い思いをした。

大滝小学校の前の道路は緩やかなカーブで傾斜のある道路になっている。下りの車は自然とスピー

ドが上がリ、上りは加速することからスピードの出やすい状況になっている。大きな事故はないが今後事故が起こらないようにスピードを落とす対策をしていただきたい。

減速帯を設置することで、振動でスピードに対する注意と意識づけが期待でき、その他県外から

の人に学校を知らせる看板の設置など効果があると思う。安全に過ごせるような方法について。

地域整備課長

も子育て・教育熱心なまち、高齢者にも優しいまち、働く場・定住のあるまち、企業誘致・通勤圏の拡大、住んでいて安心で便利なまち、これからも住んでもらいたいと言える、このような取り組みをする、このような町にするにはいずれも挨拶が基本的なキーワード、みんなが挨拶できる町を心掛ける。



多賀中2年 桜奈さん

観光名所を多くの人に知ってもらおう

多賀町は自然に恵まれ自然に適したスポーツがある。

河内の風穴は、夏場には大勢の人が集まり賑わっている。他に多賀大社があり、



多賀中1年 祈里さん

多賀町を多くの人に知ってもらおうための取組について

多賀町を他県の人などいろんな人に知ってほしい。以前友達に「多賀町って知ってる？」と聞くと「どこそこ、知らない」と言われ多賀に住んでいる私にとつとて

も悲しかった出来事です。多賀町には、多賀大社や糸切り餅、アケボノゾウなどほかの町にはないすばらしいものがたくさんある。もっと主張していったり、イベントをすることでいろんな人に知ってもらえると思う。

今後の取り組みと考えること、私たちにできることは。

企画課長 広報たがのホームページ

年末年始には町外から多くの人が訪れる。これらの観光名所を多くの人に知ってもらいたい。

多賀町のキャラクターがゆいちゃんを飛び出し坊やに代えるなど有効に使ってみては。

産業環境課長 観光パンフレットや

いろいろな団体と協力し、情報誌やSNSなどを活用し、情報発信やマスコミキャラクターのたが

いじ、インスタグラムがある。知っていたらためには町内、県外の方に時代に応じた情報発信、SNSの活用が不可欠と考える。町内には独自にSNSを活用し情報発信されている。行政も一緒に発信していく仕組みづくりを始めようとしている。

飛び出し坊やについては過去に設置されている。今後、飛び出し坊やとたがゆいちゃんがコラボレーションすることで、注目してもらえればもっと多賀町に来てもらえ

かもしれない。多くの方に訪れていただくよう努める。



多賀小6年 友晴さん

高れい者の住みよ

大滝地区には、多くの高れい者が住んでいるが、日常生活の移動で不便を感じている。

また、これからも安心して生活できるお手伝いや見守りの方法について

福祉保健課長

多賀町においては、愛のりタクシーの仕組みがとられていて、いろいろな制約があり、利用しづらい。

大滝地区では、NPO

法人で移送サービスに取り組んでいる。お互いを助け合う互助交通や移送サービスについて調べ、

もっと利用しやすい愛のりタクシーについて工夫していく。安心して生活できるお

ような工夫がないか。町として悪天候時の対策はどのようにしているのか問う。



多賀小6年 風さん

大雨や大雪の対策について

大雨のときは、通学路沿いの用水路の流れが速く、水があふれそうになっている。

また、大雪のときは、用水路と道路の境目がよく見えない。用水路の溝蓋や道路との境目が分か

地域整備課長

毎年役場において、

関係部署と小学校関係者、警察、県の道路関係職員、通学路交通アドバイザー等で構成する多賀町通学路安全推進会で危険箇所

の確認や点検作業を行っている。それぞれの学校におい



多賀中1年 優衣さん

多賀町の英語教育について

近江兄弟社中学校では、英語に力を入れた授業がされている。先生が

一方的に話すのではなく、スクリーンに問題が映し出され、iPadで答える。毎月1週間は、職員

えません。私は年長の頃から英語を習っており、慣れ親しむことが必要だと思います。

多賀町においても、保育園やこども園の頃から取り組むことはできないか問う。

学校教育課長 授業において英語への興味や関心を高める工

夫や積極的に英語を使う場面の設定は大切である。町内の小学校の授業では、

自分のお気に入りの国の食べ物や名所などを調べ、紹介したい内容を英語で話したり書いたりする場

面があった。中学校では、授業の初めに英語のスピーチ活動をしたり、話す機会を意図的に設定されている。こども園や保育園でも月1回程度英語の歌を歌ったり、英語カードで遊んだりしている。

それぞれの発達段階に並び、積極的に英語を話したりする活動に取り組む



多賀小6年 敬仁さん

タブレットの使い方について

タブレットを使っての授業が始まって3年たつ。便利な機能が多くあり、タブレットのドリル

や、デジタル教科書、夏休み・冬休みのワークを取り入れることは出来な

がるものと思われる。ワークのタブレットへの導入については、先生方と相談していきたい。タブレットを効果的に活用する学習と、文字を手で書き、本で調べ、友達と対話する学習を組み合わせていくことを大切にしていきたい。

デジタル教科書について取り組みに参加しており、その効果を探っているところである。

一方、ワークブックやノートに直接書き込むことにより記憶に残りやすく、より深い理解につな



多賀中3年 野実桜さん

影響も考えられる。こういったことを事前に防ぐ対策について問う。

自然環境を大切に
取り組む

問 大滝の自然豊かな環境が大好きですが、日頃から小さなごみが落ちてくる。夏頃には、特にバレーキューの後ごみを置いていたり、川へ捨てたりする人がいます。けがをしたり、生き物への

影も考えられる。こういったことを事前に防ぐ対策について問う。

年2回、ごみゼロ活動ならびに清掃活動を各集落、企業、事業所、各種団体のお手伝いで町内の美化に努めている。

産業環境課長

答 ごみのポイ捨てや不法投棄は町内各地でよく見られる。川、道路、田んぼ、山林等さまざまな箇所へされている。多賀町では、看板や防犯カメラの設置による啓発や不法投棄対策のクリーンパトロールを週2回実施している。



多賀中3年 貝ゆめ乃さん

多賀中学校の給食について

問 学校の委員会活動で、「食品ロスについて考える」週間があり、残食を減らす努力をしてきたが、大滝・多賀小学校の自校給食のおいしさが忘れられない。自校給食になれば、地域の雇用の拡大、

地域経済へ大きな効果があると考えるが、自校給食を検討できないか問う。

教育総務課長

答 自校給食との違いは全ての工程を中学校で行うのではなく、多くの工程を事業所内で行い、中学校では、温め直しや配膳、ご飯を炊く等を行っている。おいしい給食の提供のため、給食献立委員会を毎月開催し、地域の食材

講評 松居議会議長

子ども議会11名の皆さん、お疲れさまでした。子ども議会の開催にあたり、準備、指導等ご尽力いただきました関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

多賀町の未来を担う子どもたちが町の将来について考え、地域のさまざまな課題について、町長をはじめ行政の方々に、疑問や提案したりするよ



多賀中2年 麗杏さん

多賀町の人口減少対策について

問 平成2年の9295人から25年度1626人が減少している。人口が増え、賑わいのある多賀町にするため、どのような取り組みが行われているのか問う。

副町長

答 平成26年5月には、全国の市町村で少子化、人口流出に歯止めがかからず、2040年までに消滅する町に多賀町が該当した。消滅自治体という危機感から、町を維持、存続する方策として、高齢者には健康づくりや介護予防、若い世代には、住み続ける、移り住んでいただくための子育て支援等の環境づくりに取り組んできた。

若者世代には、住宅新築時の固定資産税の減免、出産時の祝い金、紙おむつや粉ミルクの補助、通学バスの提供や中学

生までの医療費の無償化、放課後児童クラブの拡充、こども園の建設など子育て環境の整備を図ってきた。安心して暮らせるまちづくりを常に考え、魅力あるまちづくりに取り組んでいく。

うな機会は大変意義深いことであり、今後も継続開催を望むものです。子ども議会が、町政や議会の仕組みを理解していただく良い機会になったと思います。



9月定例会

8人が一般質問
町政を問う

一般質問って?

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもち、町長や教育長などの方針を問うものです。是非、傍聴にお越しください。

質問事項 ページ

大橋 富造 14

◎多賀大社前駅の利用者拡大に向けた施策と目標は

神細工 宗宏 14

◎林道整備について
○犬上ダム緊急放流について

川添 武史 15

◎財政一般について
○仮称結いの森公園の進捗状況について

近藤 勇 15

◎農業者に対する支援について

清水 登久子 16

◎壮年層の一人暮らしの方への対応について
○自転車乗車者へのヘルメット購入補助について

木下 茂樹 16

◎彦根市・犬上郡営林組合への本町の対応は
○取得資格の諸手当は

山口 久男 17

◎介護保険について
○子ども医療費助成を高校卒業(18歳)まで無料化実施を再度求めることについて
○可燃ごみの減量化について

竹内 薫 17

◎町長改選への立候補の意思は

(注)○印の内容は掲載していません。



多賀大社前駅の利用者拡大に向けた施策と目標は 通学定期券補助は今後の検討課題

おおはし とみぞう
大橋 富造

近江鉄道を利用し沿線にある私立・公立・専門学校等に通学する町内出身の在校生に対し、通学定期券を対象に定期代を補助することで保護者負担軽減策として、6年度一般会計予算枠に反映出来ないかを問う。

利用の在校生も補助の対象として取り扱う等も含めて検討を
② 乗車率統計データから路線活性化の考えは補助することによって保護者を分社化しないまま担うと決定した理由は

町長

① 既に在学中の新1年を含め、彦根・長浜方面に150人、八日市方面に40人が多賀大社前駅を利用し通学されている。
6カ月定期額では米原駅まで6万3240円、八日市駅まで8万8020円と保護者負担も高くなっている。
また町の地形から短期間（冬場）のみ近江鉄道

① 近江鉄道は「通勤・通学・日常生活」などで幅広く利用されている貴重、且つ不可欠な地域公共交通であり、「商業・観光などで多面的な効果を発揮できる社会資本」として全線存続が必要であると判断され、現在上下分離移行後の財政支援の規模、利用促進などについて慎重に議論を行っている。定期券の補助

助については利用促進のための有効な手法の一つであると考えているが、現在、法定協議会の活性化分科会においても通学定期の運賃値下げ（割引き）の検討に町としても注視していく。
② 通勤定期が33%、通学定期が36%、定期外が31%となっている。商業・観光など多面的な効果が発揮できる社会資本として利用促進を展開していくものと考えている。
③ 何より、安全第一の第二種鉄道事業者としての役割を發揮していくためには、分社化することなくグループ体制、スケールメリットを活用し続けていく事が必要とされ法定協議会で異議なく承認された。



財政一般について 地域に根差した取り組みを推進

かわすみ しろう
川添 史

地方交付税の算定がこの時期に算定される。今年の決定額は地方交付税を増額し、臨時財政対策債を減額すると4年12月に発表していた。
5年度当初予算特別交付税含め13億7300万円と2200万円、臨時財政対策債4000万円と6500万円減額予算である。コロナ対策費では地方創生臨時交付金1億円近く交付されてきた。まだまだ未執行と言われている。
4年11月に2年度分財務指標分析結果が公表された。一般会計分で固定資産・流動資産含め資産合計173億7900万円、円固定負債・流動負債含め62億279万円、純資産は111億7600万円であった。1人当たり150万円。
庁舎、学校はじめ多くの公共建物が老朽化し資産価値がない。
財政的に大丈夫か。

① 普通交付税は今後どれくらい交付されるのか
② 地方創生臨時交付金が1億円近く交付されてきた。今後どれくらい交付されるのか
③ 2年度純資産は11億7638万円。3年度、4年度資産が増加しているのか。
また、減価償却費は

副町長

① 5年度普通交付税は12億4480万円。臨時財政対策債は3341万3000円。
② 新たに追加交付される情報は入っていない。
③ 3年度分は175億3111万円で、1億5194万円増。
減価償却費は6億3460万円。4年度分については、年度末にかけ取りまとめ。

町政を問う

林道整備について 各組合と連携し施工している

かみざいく むねひろ
神細工 宗宏



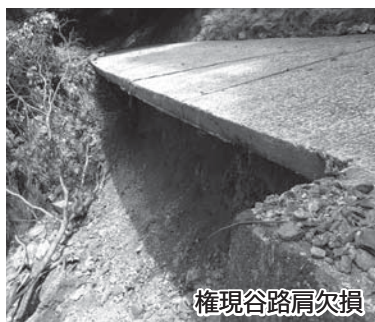
昨年12月議会でも質問の答弁で、「山の作業に合わせて林道の整備を行っていく」という回答でした。大滝山林組合、森林組合、営林組合との今年の作業予定の確認はさて、使用林道の多賀町管理林道は言うに及ばず、他の組合管理林道にも一定の補助を出す関係で、各組合の今年の作業予定等を質問する。

① 林道の点検は雪解けの後、大雨・台風の後に行うとのことでしたが、今年の点検結果は

② 各組合の作業予定箇所は

③ 使用する主要林道は

① 雪解け後の点検では大きな異常はなかったが、台風7号（8/14〜8/15）の後の点検では、権現谷線において崩落や土砂の流出が数カ所あった。



権現谷路肩欠損

② 大滝山林組合は、佐林・搬出間伐、富之尾の大谷で搬出間伐、萱原の上山で切捨間伐、藤瀬の寺街道と佐目の大見放で切捨間伐・枝打を実施。森林組合は、入谷・萱原の桂谷・桃原・栗栖で搬出間伐、萱原の一ノ渡瀬で皆伐・再造林を予定。営林組合は、杉の高室で搬出間伐を予定。
③ 大滝山林組合は、細原線、大谷線、向野線、西高取線、御池線。森林組合は、下山線。営林組合は、高室線、アサハギ谷線、権現谷線。



こんどう いよむ
近藤 勇

農業者に対する支援を 今後の検討課題である

① 米価の下落・肥料価格の高騰・燃料価格の高騰等農業者を取り巻く環境は何一つ明るい材料は見られない。
3年度には米価下落と肥料・燃料の高騰には、国および県が一体となり支援していただいた。
本町においては、特産物の拡充拡大のため、そば・人参の種子代の補助がされている。同様に転作物である大豆の種子代についても補助が出来ないか伺う。

転作物、そば・人参への種子代等の補助は、他の転作物とは特化し、町の特産物と位置付け、特産物の作付け拡大と生産の安定化を図ることを目的に補助を行っている。転作物の大豆への種子代等の補助については、今のところ考えていない。今年度は、多賀そば部会へのそば用コンバイン導入にあたり、200万円の補助を行い、特産物の生産拡大に向け、更なる支援に取り組む。

用物価高騰対策緊急支援事業として支援を検討している。
今後、ますます農業者の高齢化や減少が進む中で、本町の農業を維持するためには、農作物の作付けに係る補助に加え、5年後、10年後を見据えた支援が必要と考えている。

産業環境課長

① 米価下落・肥料・燃料高騰による生産コストの上昇により多くの農家にご苦労いただいている。

離農が進む中でも農地を守り、農業者の生産意欲の確保と経営安定などを目的として、引き続き営農していただけるよう、種子代、箱苗代の経費に係る補助ではなく、農業



大豆畑



壮年層の一人暮らしの対応は 地域と一体となり対応

清水 登久子

本町では、一人暮らしのお年寄りについては、民生委員や福祉関係者により把握されていると思うが、壮年層（40歳から65歳）の一人暮らしのケアについて問う。

されることから、実数はこの数字より少ないと推測される。

民生委員をはじめ地域の方々の協力により、支援が必要な方の把握に努め、福祉のまちづくりに取り組んでいく。

① 町内の壮年層の一人暮らしの男女別の人数は
② 特に、疾患を持つ方への対応は

福祉保健課長

① 5年3月末時点で、住民票から確認すると、男性131人、女性74人の合計205人となっている。

同居されているも何らかの事情で、住民票上世帯分離している方も散見

身体障害者手帳や精神保健福祉手帳などの所有者で、支援が必要な方には、主として保健師や障害福祉担当者が対応しているが、ケースによっては支援を受け入れてもらえず介入が困難なケースもあり、個々のケースによつてはさまざまであるが、できる限り定期的に訪問し必要なタイミングで、適切な支援に繋がるよう努めている。



介護保険について 介護認定者が増える中、大きな問題である

山口 久男



2024年の3年に一度の改定に向け論議されている社会保障審議会・介護保険部会で制度の見直しが議論されている。利用料の引き上げやサービスの削減などが課題となっている。

万円となる見込みで、計画値23億9800万円に対し、91・5%になると推測している。

① 第8期の介護給付費の見込みは
② 認定率の推移は
③ 介護給付費積立金の見込み額は
④ 第9期の第1号被保険者保険料率の引き下げの考えは
⑤ 国に対して負担率の引き上げを求める考えは

介護認定者数が徐々に増えると推測される中、引き下げは考えにくい。

① 第8期の介護給付費総額は21億9331

福祉保健課長



彦根市・犬上郡営林組合への本町の対応は 森林管理計画でバランスのとれた運営を

木下 茂樹



彦根市・犬上郡営林組合の借地植林面積は、約817haで本町の比較的奥地で植林されている。江戸時代の旧犬上郡で、豪雨での家屋・人命の喪失、山林浸食防止などで植林の防止策、木材の供給源として設立された。

① 組合林の方向性は
② 本町負担の分賦金と今後は
③ 返還協議の発展性は
④ 財産区の今後のあり方は

設立の初期目的である洪水防止は、ダム・堰堤・護岸工事などと、植林計画は達成されたが、山林の維持管理は中途である。貸地の財産区・区有林では、山林の管理不足を見かねて返却の要望もある。県での滋賀県造林公社も一元化となり、契約の変更を余儀なくされ、町内での財産区も使命は終了している状況である。

① 森林は一度荒廃すると回復には膨大な時間を要するので、森林管理計画の策定から収支バランスのとれた森林経営に努める。
② 本町の分賦金は営林組合規約で13・89%であるが、今後増加すると予想される。
③ 貸地側より要望があっても、組合の目的の理解を得て、健全な森林運営をめざす。
④ 財産区は管理会が基本で意思を尊重する。

町長改選への立候補の意思は 立候補の意思表示

竹内 薫



組合の設立、多賀産材を100%近く使用した中央公民館の設立等々多くの実績を残された。

今後、取り組まなければならない、スマートフォン・上り線の開通、国道8号線バイパス整備、小中学校の老朽化に伴う建て替え問題など多くの課題がある。

議員より身に余る過大な言葉をいただき恐縮している。今後の課題についても触れていただいた。それらの課題から逃げることはできない。

山間地域の活性化 地域おこし協力の活動紹介 No.6

森林循環事業協同組合

多賀森林循環事業協同組合は林業のびわこ東部森林組合・大滝山林組合、製材業の小林製材所、建築業の株式会社ひらつか建築、設計の株式会社雄夢で構成されています。

商品が出来上がる過程は川の流れにたとえられます。川上の山からの原木を切り出し、川中が原木から製品への製材加工を行い、川下の方が商品を手にするまでです。



土場

事業協同組合の活動



木材乾燥庫

山から切り出された丸太を『土場』に運び、その木を品質に応じて、建築製材用木材、合板用木材、製紙・パルプ用木材、バイオマス発電用燃料等に仕分けをしています。木材は水分を含んでいると変形するため、含水率を10%付近まで落とす必要があります。当組合は木材の乾燥を、エネルギー効率が高く、木材にも負担の少ない太陽光エネルギーを利用したパッシブ乾燥を行います。

土場で仕分けされ、乾燥庫と製材所が同じ敷地内にあり製品ができ、町内で作業が完結できる。持続可能な森林資源の循環利用を行っている。



送台車

木材を活用した商品

木には個性があり、同じものはありません。町の中から切り出された木材を生かした製品を開発中です。現在、木の表彰状、名刺入れ等があります。



名刺入れ

注目される理由

気候変動問題の解決に、2050年までに脱炭素社会の構築を宣言。

植林・森林による『吸収量』を排出量から差し引いて、合計をプラスマイナスゼロにすることを言います。温室効果ガスを出不さないことも大切です。ガスを『吸収』することに着目し、森林資源の循環はSDGsにも合致しています。

今年も早いもので、残すところ2カ月弱となりました。皆さん今年の目標や、しようと思っていたことは出来たでしょうか。

長いコロナ禍でしたが、第5類に移行後は、徐々に以前の生活に戻りつつある半面、コロナとインフルエンザの同時流行や、

コロナワクチンの秋接種と云った状況も有り、まだまだ手放しで喜ぶところまでには、至っていないのが現状でしょうか。

しかしながら、町内各園・小・中学校や各地域でも、色々工夫しながら運動会も開催されました。油断することなく、工夫しながら前進して行きましょう。

編集後記

神細工 宗宏 記

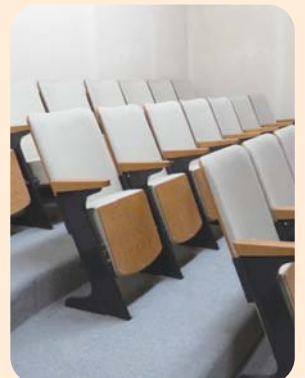
議会を傍聴してみませんか？

議員や行政は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。ぜひお越しください。

12月定例会の予定

- | | | |
|--------------------|--------|-------|
| 12月 1日(金) | 9:30~ | 定例会開会 |
| ・町長が町政報告と議案提案を行う。 | | |
| 12月 5日(火) | 9:30~ | 一般質問 |
| 12月 6日(水) | 9:30~ | 一般質問 |
| ・議員が町政について質問します。 | | |
| 12月19日(火) | 13:30~ | 定例会閉会 |
| ・初日に提案された議案を採決します。 | | |

※日程は、変更になる場合があります。



※座席は21席あります。(コロナ対策で制限する場合があります)